

日本ディベート協会 Japan Debate Association (JDA)

日本ディベート協会について

日本ディベート協会 (Japan Debate Association 略称 JDA) はディベート活動の普及・発展を推進することを目的として 1986 年 3 月に発足しました (旧称、日本ディベート協議会)。

ディベートとは、一定のルールに則って行われる対立形式のコミュニケーションです。参加者は、ある命題 (論題) について調査・分析を行い、肯定・否定の二つの立場に分かれて論理的な議論を展開し、主として第三者を説得することが目的です。ディベートは、社会の様々な場面での意思決定に有効であるばかりでなく、教育・訓練の場においては、論理的議論の進め方、批判的思考、問題の調査・分析、口頭発表などのコミュニケーション能力の育成に活用されています。

このようなディベートとディベートに特徴づけられる思考やコミュニケーション能力は今日の社会において不可欠のものであります。国際的なコミュニケーションの場にあつては、日本にとって何が最良の選択であるのかを見極め、その選択を主張し擁護しなければなりません。日本の社会の中にあつても、外国人との意見や立場の違いに対応するには、対立点を明らかにし論理的に議論することが要求される機会も多いでしょう。また、日本人同士にあつても、個人の価値観が多様化してきた現代にあつては、以心伝心的コミュニケーションは必ずしも効果的ではありません。現代日本に人にとっては、お互いの価値観や意見の相違を明確にし、そこから、論理的な議論をかわすことによって様々な問題を解決していく能力が不可欠になります。

ディベートおよびディベート教育の必要性は、日本においても何度も叫ばれながら、まだ日本の社会に根付いたとは言い難いところです。ディベート活動の健全な普及発展のためには、全国のディベート研究者・実践家が協力し、各地の活動を支援し、意見交換を行い、さらに活動を広げていかなければなりません。そのため、本会では次のような活動を行います。

日本ディベート協会の活動と事業

(1) ディベート活動の国際交流の推進

現在は、アメリカのナショナル・コミュニケーション学会 (NCA) と協力して、日本とアメリカの学生選抜チームを一年おきに交互に派遣して各地で交換試合等の行事を行っています。

(2) 日本国内でのディベート普及活動

主として大学生の英語ディベート大会のために全国統一推薦論題を年二回発表します。本会主催の日本語ディベート大会の開催、他のディベート大会 (英語および日本語) への審査員の派遣、運営の助言、賞の提供、等を行います。

(3) ディベートに関する研究活動の推進

本会独自で、また、日本コミュニケーション学会年次大会の「ディベート特別セッション」として、研究・実践の発表の場を提供します。研究誌の発行も計画しています。

(4) ディベート研究者・指導者の意見交換

年数回『日本ディベート協会通信』を発行し、ディベート関連の記事や情報を掲載します。インターネットを通じての情報交換のためにメーリングリスト (JDA-ML) を運営しています。

問い合わせ先

日本ディベート協会事務局

〒261 千葉市美浜区若葉1-4-1
 神田外語大学・松本茂研究室内
 電話: 043-273-1233 内線332
 FAX: 043-273-1777

電子メール: GFA03424@niftyserve.or.jp
 ホームページ:

<http://www.csl.sony.co.jp/person/kitano/jda/jda.html>

なお、大学当局は本協会とは関係ございませんので、大学事務職員への質問などはお控え下さい。